

☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆*。。。*☆

◆ エース365 2011/03/02号 ◆

◆ ☆FXディーラー プレミアムレポート ☆ ◆

☆*:::;*★*:::;*☆*:::;*★*:::;*☆

■ *==*==*○ . . . * . : : , ○=*==*==* ■

『為替適時打（タイムリーヒット）』

湘南FX代表 野村雅道氏

■ *==*==*:. . . . : *●*:. . . . : ○:. . . . : *●*:. . . . : ○:. =*==*==* ■

■ 「今後1週間の予想レンジ」

ドル円79-84、ユーロ円、110-115、ユーロドル1.35-1.40

1. 「3月相場」

年初来の主要9通貨（米ドル、円、ユーロ、ポンド、豪ドル、NZドル、スイス、カナダ、ランド）ではポンドが最強、南アランドが最弱である。ただその差は縮まっている。ポンド・ランド相場は年初は10.27であったが、2月16日に11.86と15%高となった。その後急落した現在（2月25日終値）は11.30で10%高となっている。円は対ドル円ではやや強くなったがまだ年初来米ドルよりも弱い。9通貨中では6位から7位で推移している。

さて3月のドル円はどうだろう。2月は後半は「リパトリと輸出」で円高が進んだが、3月はそれほどドル円では円高になっている年がない。横ばいが多い（後述）。

中国金融引き締め（昨日やや後退感あり）、ジャスミン革命波及、NZ大地震などあれど世界景気はここまですんとか回復基調を辿っている。ただそれにともないCRB指数が350を超え物価も上昇している。日本でさえ危険だが日銀が楽観的になってきているので世界中の中銀が出口戦略を多かれ少なかれ議論し始めるのは当然だろう。今週は米雇用統計を中心に出口戦略関連の報道が世界の相場を動かしていくだろう。

日本も生産・雇用の指標が持ち直しつつある。日銀の野田委員が講演する。政局は混迷だがいつものことだ。3月始めはやや外貨投信払い込みが多い。ボリンジャーバンド下限近しで深追いは注意したい。

米国は雇用統計とそれに絡むADP雇用者数、チャレンジャー社人員削減数、失業保険に、ISM製造業景況指数、建設支出、ベージュブック、ISM非製造業景況指数、PCEコア・デフレーター、個人所得、シカゴ購買部協会景気指数、米 中古住宅販売保留と重要指標が続く。指標は住宅を除けばここまでやや強いものが多く、企業収益も好調なので株価も高く米ドルを支えてきた。

昨日、「商品価格高騰は一時的なインフレにつながる可能性、持続的な原油高は成長にとってのリスク、長期にわたり低金利を継続する、今年の経済成長は勢いを付ける見込み」と証言したバーナンキFRB議長は今夜は下院で議会証言する。

ユーロ圏は失業率が若干改善した。消費者物価指数もターゲットを超えている。今年通貨最強の英国は指標が殆どない。スイスとカナダの4QGDPは改善した。各国がそれぞれ出口政策へ歩を進めるだろう。4QGDPや他指標が改善している南アランドはまだ今年最弱通貨だが安値から3分の1ほど戻してきた。

金融引き締め打ち止め感も少し出てきた中国は株価はこじっかり、製造業PMI伸び悩み。つまた非製造業のPMIもある。

円相場はドル円だけで報道するテレビなどでは円高推移（それでも年初来陽線）と見られているがクロス円では弱い。円は今年はNZとランドだけに強いだけだ。上記にも買ったように3月の円相場は動きにくい。だからといって油断してはいけないが、はしゃいでも独り相撲となりやすい。

2. 需給「静かな3月のディーリングルーム」

2月は後半は「リパトリと輸出」で円高が進んだが、3月はそれほどドル円では円高になっている年がない。横ばいが多い。リパトリもここまで引っ張ってくればもう中途半端な日にはやらずに年度末の3月31日（木）の仲値決定に持ちこむだろう。国際収支表は3月のリパトリの数字が多くなっているが、2月に外貨売り予約を入れているので数字ほど実際の売りは出ないのだろう。

後は年度末の仲値での最後の支払いの外貨買いとの大勝負になる。輸出筋も本格的に外貨の売り予約をとってくるのは新年度の4月以降だ。3月のディーリングルームは以上により閑散となる。もちろん海外市場は3月は通常の日なので彼らら積極的な売買を行う。昨日のように海外主導で大きく動くこともあろう。

3. 「中国金融引き締め感和らぐ」

昨年末から金融引き締めが続くがCPIについては今後落ち着く見通しが示された。国家発展改革委員会の張平・主任はこのほど、一部穀物の価格上昇が減速していることや野菜価格が下向いてきたことを背景に、2月のCPI上昇率が減速傾向を継続する可能性があるとの見方を示した。

昨年7月以来加速傾向が続いていたCPI上昇率が1月に4.9%に減速し、市場予想も下回った点に言及。政府が講じた一連の物価抑制策が奏功したとの見方を強調した。来週11日に発表される2月CPIは1月より0.1%低い4.8%にとどまるとの見方が示されている。

また温家宝首相は、今年から始まる国民経済の新中期計画「第12次5カ年計画」のGDP成長率目標を年平均7%に設定し、持続的安定成長を目指す方針を明らかにした。昨年までの5カ年計画は目標を年7.5%としたが、実際は9%から14%台の高い伸びが続きインフレや環境汚染が問題化したため、成長率を低めに抑え省エネルギーや環境に配慮する考えをあらためて強調した。

また国際的な切り上げ圧力が強い人民元相場については「政治問題化に反対する」と指摘、国内企業や国民生活への影響を考慮しながらゆっくりと元高を進める考えを示した。

4. トピック1「ドル円」

2月16日以来、2月21日はほぼ寄り引き同時で微妙だが8連続陰線が続けていたが28日に陽線となった。2月22日-24日と2月16日-17日の下降ラインは2月28日と3月1日で上抜いた。2月28日-3月1日の上昇ラインが出来たが昨日3月1日は上ヒゲを残し売り圧力も示した。上昇ラインが維持できるかどうか。またボリンジャーバンドの下限に近づいてきたこともあり81円前半でのドル売りは深追いとなるので注意したい。

移動平均線5日線はまだ下向きである。81割れをトライするとしたら2月4日以来（ここでは失敗）である。需給では3月始めは外貨投信の払い込みもやや多くドル円を支えるだろう。買いは81.70から売りは82.20からまとまっている。月足は1月陽線、2月はリパトリと月末輸出で陰線となっている。年足は陽線である。3月は上記に述べたように静かな展開となることが多い。79-84円か

● 「ドル／円 (USD/JPY) 日足チャート」。

↓↓↓↓↓

(URL) <http://www.acefx.jp/images/report/110302-1.gif>

5. トピック2「豪ドル円」

今週は重要指標が多い。1月小売売上（前月比）は前回+0.2%、予想の+0.3%を上回り+0.4%となった。2月AiG製造業指数は51.1となり1月の46.7を上回った。しかし4Q企業営業利益は前期比-2.8%となり予想は前期比+1.0%を下回っている。ここ2年（昨年5月の利上げ打ち止めで下げたが）ほどの豪ドルの上昇の勢いはない。

政府当局も2011年第一四半期は洪水の影響もありGDPは0.5%から1.0%下押しすると表明している。それゆえにマチマチの指標が続くのだろう。本当に明るくなるのは2Q以降でありその数字が出てくるのは春以降となる。資源価格も過去2年ほどの伸びがないにも中国の金融引き締めや今後5カ年の成長率見通し引き下げによるものだろう。

NZ大地震の影響は豪には小さくなった。NZの新聞はいまだ一面地震について書かれているが、豪の新聞での地震の記事は日本よりも少ないというかあまり見つけることが出来ない。冷たいといえば冷たい気がする。せっかく地震直前にギラード首相が初のNZ訪問を行って豪NZ包括経済交渉を始めたのであったが。

さて昨日の政策金利決定は予想通り据置となった。洪水の影響とインフレが若干落ち着いてきているからだ。ただ最近の中銀は2011年のGDP伸び率予想を3.75%から4.25%へと上方修正や、雇用の拡大に言及しネガティブな発言は見られない。またいつもながら他の資源国と違って豪ドル高懸念はしていない。本日は4QGDPの発表があり予想は前期比+0.6%である。洪水は12月末のことなのでまだ影響は出ないのだろう。

豪ドル円のテクニカルでは2月23日、24日は82円前半で下ヒゲが続き上昇の原動力となり25日からは83円のせとなった。ただその2月24日-28日を結んだ上昇ラインは昨日下抜いた。行ったり来たり。ボリンジャーバンドでも中位まで戻した。現在バンドは81.65-84.52のレンジ。月足は2月はNZ地震の影響がありながらも陽線。

年足は僅かだが陽線である。豪ドルドルは12月以来の1.02台トライは昨日は失敗した。まだ豪ドルロングにとっては辛抱強さが必要な時が続くだろう。80-85円か。

●「豪ドル/円(AUD/JPY) 日足チャート」。

↓↓↓↓↓

(URL) <http://www.acefx.jp/images/report/110302-2.gif>

□ ■ ————— ↓↓↓ ログイン画面はこちら ↓↓↓ —————

<https://www.click365-system.com/acekoeki/PCUI/DAUTW000.do?DummyButton=Init>

..... ■ □

☆エース365 FXディーラープレミアムレポートご紹介ページ☆

http://www.fx-365.jp/premium_report/

————— 【ご注意】 —————

本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の

一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

※このメールは、エース取引株式会社からのお知らせをお送りすることにご了承いただいている方へお送りしています。

※メール配信の停止を希望される方はこちらから↓

<http://r26.smp.ne.jp/o/Pg/165090/l24ADkH7ci0D/out?stop=k>

エース取引株式会社 FXオンライントレード部 エース365担当
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24 エースファーストビル
フリーコール 0120-7464-90 TEL:03-5485-4494
FAX:03-5485-5081 mail: click-fx@acekoeki.co.jp
ホームページ <http://www.fx-365.jp/index.html>
大阪証券取引所 JASDAQ市場上場（銘柄コード：8749）
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号
（社）金融先物取引業協会会員

取引所為替証拠金取引「エース365」（以下、本サービスといいます）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）で、（社）金融先物取引業協会に加入している金融商品取引業者です。

- ・本サービスの最低取引単位（1枚）は1万通貨または10万通貨単位（※1）です。売買手数料は、1枚当り片道税込210円～1,050円（日計り決済時105円～630円）、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり取引金額（想定元本）の2%以上で、通貨ペアの種類により決まります。
- ・実際の取引金額は、証拠金の額に比して大きいため、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。
- ・証拠金に対する取引金額の比率は50倍以下です。また、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。
- ・ロスカットルールは、お客様の資産の損失拡大を防ぐためのルールですが、必ずしもお客様の損失を限定するものではありません。各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、経済指標の数値の変動等により、急激な相場変動が起こった場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。
- ・当社が提示する各通貨ペアには売付けと買付けに価格差があり、またスワップポイントには支払いと受け取りがあります。
- ・スワップポイントは、各国の信用状況や金利情勢等により日々変動し、取引対象である通貨の金利変動により受け取りから支払いに転じることがあります。
- ・本サービスは、お客様から預託を受けた証拠金が当社に滞留する場合には、お客様の資産を安全に確保するため、三井住友銀行の信託保全サービス「クリアリングトラスト」

を実施しておりますが、法令上要求される区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差等があることから、いかなる状況でも必ずお客様からお預りした証拠金等が全額返還されることを保証するものではありません。

上記リスクは、本サービスにおける主なリスクについて記載したのですが、これがすべてとは限りません。

ご契約の際は契約締結前交付書面を十分に熟読の上、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任のうえお申込みください。

(※1) ランド／円、香港ドル／円、スウェーデン・クローナ／円、ノルウェー・クローネ／円の取引単位は10万通貨、それ以外の通貨ペアは1万通貨単位です。

お客さまのご相談連絡先：当社本社内／コンプライアンス部（電話：03-5485-4161）、若しくは証券・金融商品あっせん相談センター（電話：0120-64-5005）にお願いいたします。

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第251号
(社) 金融先物取引業協会会員 (会員番号1307)

取引所為替証拠金取引「エース365」は、エース取引株式会社の登録商標です。

・お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

個人情報保護ポリシー：<http://www.fx-365.jp/privacy.html>

・電子メールの特性上、送信過程で内容欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの発信を監視する権限を持っています。

・当社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いします。

<http://www.acekoeki.co.jp/contact/>
